企業物流短期動向調査（日通総研短観）
調 査 結 果

（２０１１年１２月調査）

２０１２年１月

株式会社　日通総合研究所

ー 目 次 ー

Ⅰ．調査の内容 1

Ⅱ．調査の結果 3
　１．国内向け出荷量の動向 3
　２．輸送機関利用の動向 7
　　（１）一般トラック 8
　　（２）特別積合せトラック 9
　　（３）宅配便 10
　　（４）鉄道コンテナ 11
　　（５）内航コンテナ 12
　　（６）国内航空 13
　３．輸出入貨物量の動向 14
　　（１）外貿コンテナ　－輸出－ 15
　　（２）外貿コンテナ　－輸入－ 16
　　（３）国際航空　－輸出－ 17
　　（４）国際航空　－輸入－ 18
　４．在庫量と営業倉庫利用の動向 19
　　（１）在庫量　－原材料－ 20
　　（２）在庫量　－製品－ 21
　　（３）営業倉庫保管量 22
　５．運賃・料金の動向 23
　　（１）一般トラック運賃 24
　　（２）特別積合せトラック運賃 25
　　（３）鉄道コンテナ運賃 26
　　（４）内航コンテナ運賃 27
　　（５）国内航空運賃 28
　　（６）営業倉庫保管料金 29
　６．物流コスト割合の動向 30

Ⅰ．調査の内容

目　的　：　本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方　法　：　本調査はアンケート方式により、四半期ベース（３月、６月、９月、12月の年４回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の３つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標(*)とする。

$$\text{動向判断指標}=\left[\begin{array}{c}\text{「増加する（値上り）」と}\\\text{回答した事業所割合}\end{array}\right]-\left[\begin{array}{c}\text{「減少する（値下り）」と}\\\text{回答した事業所割合}\end{array}\right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*)　動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象：　製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2011年10～12月の実績と2012年1～3月の見通しを12月初旬時点でうかがったものであり、1,049社からご協力をいただき、回答率は42.0%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

業種		調査対象企業数	回答企業数	回答率(%)
製造業	食料品・飲料	232	94	40.5
	繊維・衣服	111	47	42.3
	木材・家具	96	38	39.6
	パルプ・紙	107	47	43.9
	化学・プラスチック	239	118	49.4
	窯業・土石	102	41	40.2
	鉄鋼・非鉄	195	104	53.3
	金属製品	128	55	43.0
	一般機械	222	100	45.0
	電気機械	333	128	38.4
	輸送用機械	250	93	37.2
	精密機械	67	22	32.8
	その他	167	53	31.7
	計	2,249	940	41.8
卸売業	生産財	124	63	50.8
	消費財	127	46	36.2
	計	251	109	43.4
合計		2,500	1,049	42.0

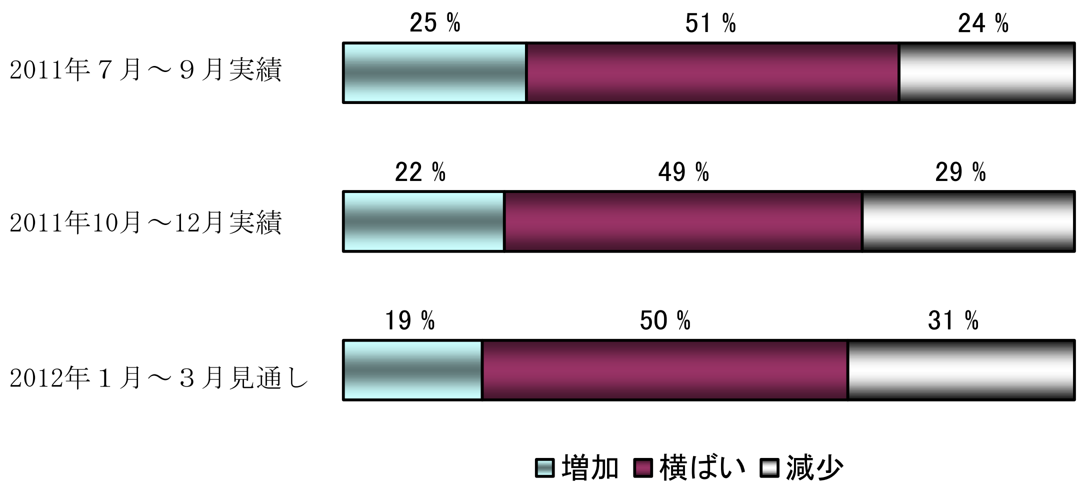
Ⅱ．調査の結果

－１．国内向け出荷量の動向－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2011 年 7～9 月）実績より３ポイント低下し 22%となった。一方、「減少」との回答は前期より５ポイント上昇し 29%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は８ポイント低下して△７となった。

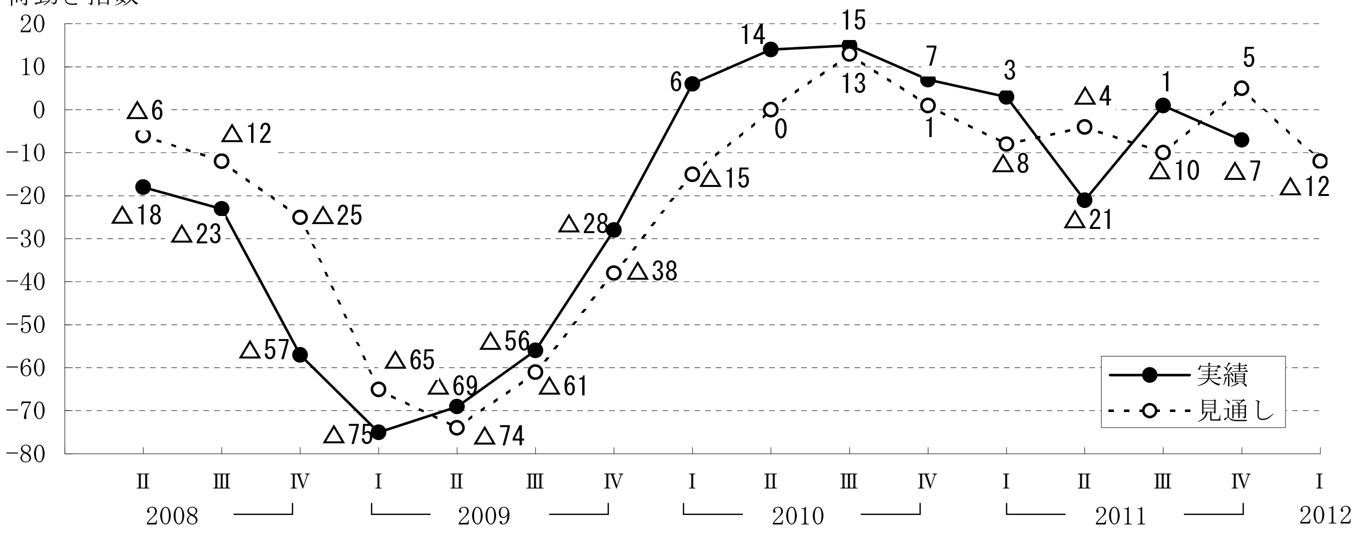
■　2012 年 1～3 月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2011 年 10～12 月）実績（見込み）より３ポイント低下し 19%となる一方、「減少」との回答は２ポイント上昇して 31%になる。この結果『荷動き指数』は５ポイント低下して△12 と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



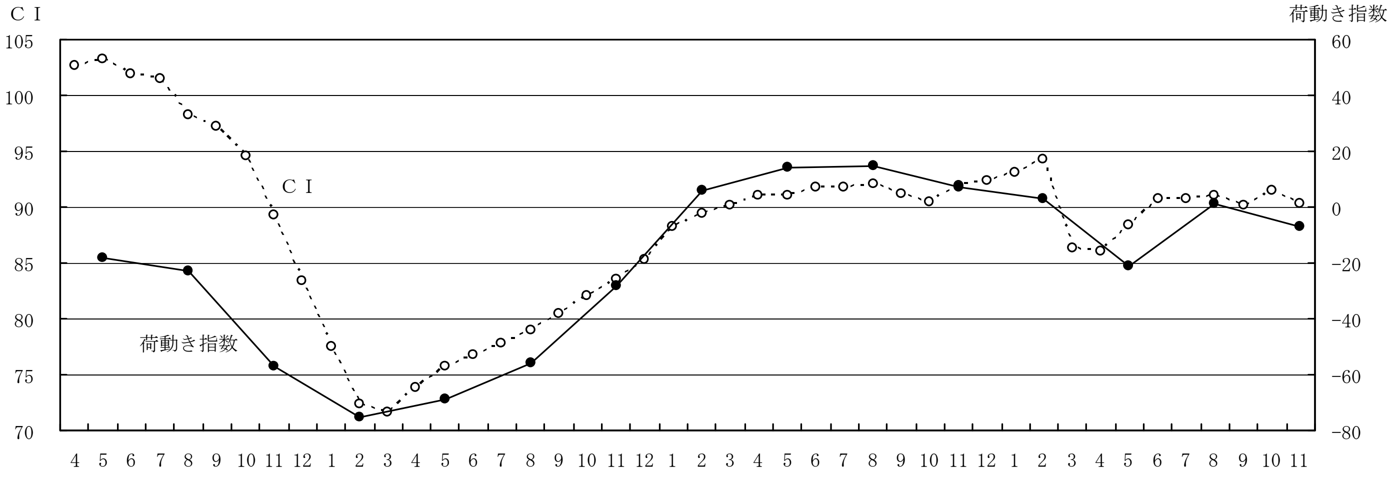
■　今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年4～6月実績では、東日本大震災の影響を受けて、『荷動き指数』が△21と６期ぶりにマイナスに転じたが、サプライチェーンが復旧した7～9月実績において、Ｖ字型の回復によりプラス水準へと浮上した。しかし、10～12月実績（見込み）で再びマイナスに沈み、2012年1～3月見通しではさらに５ポイントの下降が見込まれており、荷動きは減退傾向を強めている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注）点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2012年Ｉ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2011年Ⅳ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数（ＣＩ；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注）１．荷動き指数は四半期ごとの数値のため、２月、５月、８月、11月の位置にプロットしている。
　　２．景気動向指数研究会によると、第14循環における景気の山は2008年２月、景気の谷は2009年３月となっている。

■　2011 年 10～12 月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、木材・家具、窯業・土石など７業種がプラス、化学・プラスチック、電気機械など８業種がマイナスとなった。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しでは、過半数の業種で『荷動き指数』の悪化が見込まれ、プラスの業種は木材・家具、輸送用機械など５業種にとどまり、残り 10 業種がマイナスを示す。この結果、荷動きの減退の動きが広範囲の業種に拡大する見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	93	25	55	20	5	91	21	56	23	△ 2
	繊維・衣服	47	21	53	26	△ 5	47	25	47	28	△ 3
	木材・家具	38	42	47	11	31	38	26	61	13	13
	パルプ・紙	46	15	59	26	△ 11	46	8	59	33	△ 25
	化学・プラスチック	117	7	54	39	△ 32	116	6	57	37	△ 31
	窯業・土石	40	38	45	17	21	40	14	58	28	△ 14
	鉄鋼・非鉄	103	19	45	36	△ 17	103	13	48	39	△ 26
	金属製品	53	32	38	30	2	52	25	46	29	△ 4
	一般機械	100	24	48	28	△ 4	100	30	41	29	1
	電気機械	124	20	33	47	△ 27	123	17	41	42	△ 25
	輸送用機械	92	27	48	25	2	91	29	52	19	10
	精密機械	22	23	45	32	△ 9	22	27	50	23	4
	その他	53	28	49	23	5	53	25	53	22	3
	計	928	23	47	30	△ 7	922	20	50	30	△ 10
卸売業	生産財	62	27	52	21	6	62	19	46	35	△ 16
	消費財	45	7	71	22	△ 15	45	4	65	31	△ 27
	計	107	19	60	21	△ 2	107	13	53	34	△ 21
合計		1,035	22	49	29	△ 7	1,029	19	50	31	△ 12

■　2011 年 10～12 月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、近畿のみプラスを示し、残り８地域ではマイナスとなった。なかでも、関東および中国では２ケタのマイナスを示し、荷動きの減退が顕著である。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しについては、東海ではプラスに浮上する一方、残りの地域では悪化が見込まれ、近畿でもマイナスに沈む。この結果、マイナスの地域は８地域で、近畿を除いて２ケタのマイナスとなり、荷動きの減退圧力が強まる見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

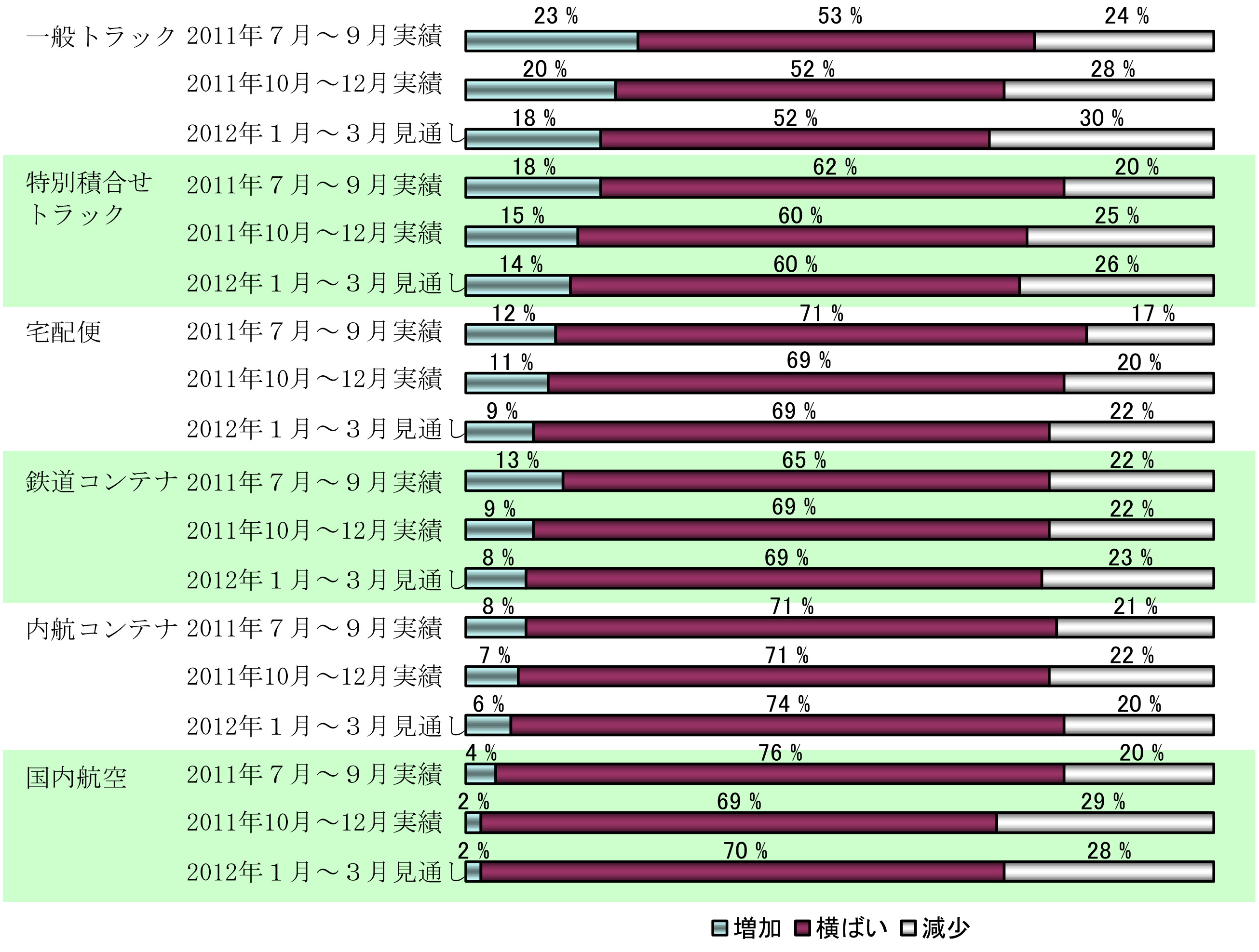
地　域	2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
	回答社数	構成比（%）			荷動き指数	回答社数	構成比（%）			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北海道	47	19	58	23	△ 4	47	11	66	23	△ 12
東北	87	19	53	28	△ 9	87	14	57	29	△ 15
関東	247	24	40	36	△ 12	243	16	47	37	△ 21
北陸・信越	112	25	46	29	△ 4	112	25	38	37	△ 12
東海	146	25	42	33	△ 8	146	27	51	22	5
近畿	147	24	53	23	1	147	19	55	26	△ 7
中国	103	18	50	32	△ 14	103	16	52	32	△ 16
四国	65	17	58	25	△ 8	65	15	54	31	△ 16
九州・沖縄	81	19	59	22	△ 3	79	20	50	30	△ 10
合　計	1,035	22	49	29	△ 7	1,029	19	50	31	△ 12

－２．輸送機関利用の動向－

■　2011年10～12月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、すべての輸送機関において、前期（2011年7～9月）実績よりも悪化し、一般トラックおよび宅配便で１ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての輸送機関で２ケタのマイナスとなった。

■　2012 年 1～3 月の見通しでは、内航コンテナおよび国内航空で『利用動向指数』が強含み横ばいで推移する以外は、残りすべての輸送機関において『利用動向指数』が悪化し、すべての輸送機関で２ケタのマイナスとなる。この結果、各輸送機関とも荷動きはいっそう減退する見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



（１）一般トラック

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、窯業・土石など７業種がプラス、食料品・飲料がゼロ水準で、化学・プラスチック、電気機械など７業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△８で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは７ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『利用動向指数』見通しでは、大半の業種で『利用動向指数』が悪化し、食料品・飲料など３業種がマイナスに沈む。業種全体の『利用動向指数』は４ポイント低下して△12 と見込まれ、利用はさらに減退するものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
	業　種	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	89	24	52	24	0	87	16	58	26	△ 10
	繊維・衣服	38	26	50	24	2	38	29	47	24	5
	木材・家具	36	39	50	11	28	35	23	66	11	12
	パルプ・紙	47	15	57	28	△ 13	47	9	57	34	△ 25
	化学・プラスチック	117	7	55	38	△ 31	117	7	57	36	△ 29
	窯業・土石	38	39	45	16	23	38	18	56	26	△ 8
	鉄鋼・非鉄	101	19	49	32	△ 13	101	14	50	36	△ 22
	金属製品	54	31	43	26	5	51	25	51	24	1
	一般機械	94	20	54	26	△ 6	94	24	47	29	△ 5
	電気機械	118	20	38	42	△ 22	116	15	45	40	△ 25
	輸送用機械	90	26	51	23	3	88	30	53	17	13
	精密機械	17	24	59	17	7	17	29	47	24	5
	その他	51	17	63	20	△ 3	50	22	50	28	△ 6
	計	890	21	51	28	△ 7	879	18	53	29	△ 11
卸売業	生産財	58	22	57	21	1	56	16	48	36	△ 20
	消費財	43	7	70	23	△ 16	43	4	63	33	△ 29
	計	101	16	62	22	△ 6	99	11	55	34	△ 23
合計		991	20	52	28	△ 8	978	18	52	30	△ 12

（２）特別積合せトラック

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具および窯業・土石がプラス、一般機械および生産財卸ゼロ水準で、残り 11 業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△10 で、前期（2011 年 7～9 月）実績との比較では８ポイント低下した。

■　2012年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料および一般機械がプラスに浮上する一方、窯業・土石および生産財卸がマイナスに落ち込む。業種全体の『利用動向指数』は△12と２ポイント低下する見通しで、利用の減退圧力がいくぶん強まるものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

	業種	2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	51	15	65	20	△ 5	50	18	68	14	4
	繊維・衣服	33	18	55	27	△ 9	33	21	46	33	△ 12
	木材・家具	23	26	65	9	17	23	22	70	8	14
	パルプ・紙	29	10	66	24	△ 14	29	14	62	24	△ 10
	化学・プラスチック	98	3	66	31	△ 28	98	5	63	32	△ 27
	窯業・土石	30	17	73	10	7	30	13	64	23	△ 10
	鉄鋼・非鉄	63	11	59	30	△ 19	63	8	57	35	△ 27
	金属製品	38	21	55	24	△ 3	38	18	56	26	△ 8
	一般機械	75	19	62	19	0	75	19	64	17	2
	電気機械	95	16	48	36	△ 20	95	7	58	35	△ 28
	輸送用機械	59	17	56	27	△ 10	59	20	53	27	△ 7
	精密機械	5	0	80	20	△ 20	5	0	80	20	△ 20
	その他	39	21	56	23	△ 2	38	21	55	24	△ 3
	計	638	14	60	26	△ 12	636	13	60	27	△ 14
卸売業	生産財	40	20	60	20	0	40	17	63	20	△ 3
	消費財	30	10	73	17	△ 7	30	10	67	23	△ 13
	計	70	15	66	19	△ 4	70	14	65	21	△ 7
合計		708	15	60	25	△ 10	706	14	60	26	△ 12

（３）宅配便

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、木材・家具、生産財卸の３業種がプラスで、残り 12 業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△９で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは４ポイント低下した。

■　2012年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械がゼロ水準まで浮上する一方、食料品・飲料および生産財卸がマイナスに反転し、この結果、プラスの業種は木材・家具のみとなる。業種全体の『利用動向指数』は△13とさらに４ポイント低下する見込みで、利用の減退圧力が強まる見通しである。

宅配便利用の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	65	17	71	12	5	64	9	72	19	△ 10
	繊維・衣服	36	11	67	22	△ 11	36	14	67	19	△ 5
	木材・家具	29	17	73	10	7	28	14	75	11	3
	パルプ・紙	22	18	59	23	△ 5	22	18	55	27	△ 9
	化学・プラスチック	89	1	77	22	△ 21	88	2	75	23	△ 21
	窯業・土石	27	4	85	11	△ 7	27	4	85	11	△ 7
	鉄鋼・非鉄	67	3	78	19	△ 16	67	3	78	19	△ 16
	金属製品	46	9	63	28	△ 19	44	11	62	27	△ 16
	一般機械	90	14	67	19	△ 5	89	16	64	20	△ 4
	電気機械	109	13	54	33	△ 20	108	12	57	31	△ 19
	輸送用機械	75	12	75	13	△ 1	73	10	74	16	△ 6
	精密機械	20	10	65	25	△ 15	20	25	50	25	0
	その他	36	11	75	14	△ 3	35	6	71	23	△ 17
	計	711	10	69	21	△ 11	701	10	68	22	△ 12
卸売業	生産財	48	19	67	14	5	47	11	68	21	△ 10
	消費財	34	3	82	15	△ 12	34	0	82	18	△ 18
	計	82	12	73	15	△ 3	81	6	74	20	△ 14
合計		793	11	69	20	△ 9	782	9	69	22	△ 13

（４）鉄道コンテナ

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具が唯一プラスを示し、金属製品および消費財卸がゼロ水準で、残り 12 業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△13 で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは４ポイント低下した。

■　2012年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品および消費財卸がマイナスに沈み、木材・家具もゼロ水準まで下降し、この結果、プラスの業種は皆無となる。業種全体の『利用動向指数』は△15と２ポイント低下する見通しで、利用は引き続き減退するものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
業種			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	41	7	78	15	△ 8	41	7	76	17	△ 10
	繊維・衣服	11	9	73	18	△ 9	11	9	73	18	△ 9
	木材・家具	16	19	69	12	7	16	19	62	19	0
	パルプ・紙	32	12	66	22	△ 10	32	6	69	25	△ 19
	化学・プラスチック	82	3	76	21	△ 18	81	4	75	21	△ 17
	窯業・土石	11	9	73	18	△ 9	11	0	73	27	△ 27
	鉄鋼・非鉄	43	23	40	37	△ 14	43	16	54	30	△ 14
	金属製品	23	13	74	13	0	23	9	74	17	△ 8
	一般機械	39	7	72	21	△ 14	39	7	72	21	△ 14
	電気機械	32	12	69	19	△ 7	32	12	66	22	△ 10
	輸送用機械	29	0	83	17	△ 17	29	3	80	17	△ 14
	精密機械	6	0	83	17	△ 17	6	0	83	17	△ 17
	その他	29	6	66	28	△ 22	28	4	64	32	△ 28
	計	394	9	70	21	△ 12	392	8	70	22	△ 14
卸売業	生産財	14	7	57	36	△ 29	14	7	57	36	△ 29
	消費財	13	23	54	23	0	13	7	62	31	△ 24
	計	27	14	56	30	△ 16	27	7	60	33	△ 26
合計		421	9	69	22	△ 13	419	8	69	23	△ 15

（５）内航コンテナ

■　2011 年 10〜12 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料および金属製品がゼロ水準にとどまる以外は、残り 13 業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△15 で、前期（2011 年 7〜9 月）実績からは２ポイント低下した。

■　2012 年 1〜3 月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品および輸送用機械がプラスに浮上する一方、食料品・飲料がマイナスに沈む。業種全体の『利用動向指数』は強含み横ばいでの推移が見込まれ、利用は引き続き減退する見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	利用動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	利用動向指数
製造業	食料品・飲料	21	5	90	5	0	21	4	86	10	△ 6
	繊維・衣服	7	14	57	29	△ 15	7	0	71	29	△ 29
	木材・家具	9	0	78	22	△ 22	8	0	88	12	△ 12
	パルプ・紙	17	12	47	41	△ 29	17	12	47	41	△ 29
	化学・プラスチック	46	0	74	26	△ 26	45	0	78	22	△ 22
	窯業・土石	9	0	67	33	△ 33	9	0	67	33	△ 33
	鉄鋼・非鉄	27	11	63	26	△ 15	27	7	71	22	△ 15
	金属製品	15	7	86	7	0	15	13	80	7	6
	一般機械	34	5	74	21	△ 16	34	5	74	21	△ 16
	電気機械	29	7	79	14	△ 7	29	3	80	17	△ 14
	輸送用機械	21	10	76	14	△ 4	20	15	80	5	10
	精密機械	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	その他	22	14	68	18	△ 4	22	14	68	18	△ 4
	計	260	6	73	21	△ 15	257	6	75	19	△ 13
卸売業	生産財	6	17	33	50	△ 33	6	0	50	50	△ 50
	消費財	6	17	50	33	△ 16	6	17	50	33	△ 16
	計	12	16	42	42	△ 26	12	8	50	42	△ 34
合計		272	7	71	22	△ 15	269	6	74	20	△ 14

（６）国内航空

■ 2011 年 10～12 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、全 15 業種が２ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△27 で、前期（2011 年 7～9 月）実績との比較では 11 ポイントの低下がみられた。

■ 2012 年 1～3 月の『利用動向指数』見通しでは、引き続きすべての業種がマイナスとなるが、輸送用機械などではマイナス幅がいくぶん縮小する。業種全体の『利用動向指数』は△26 と強含み横ばいでの推移が見込まれるが、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

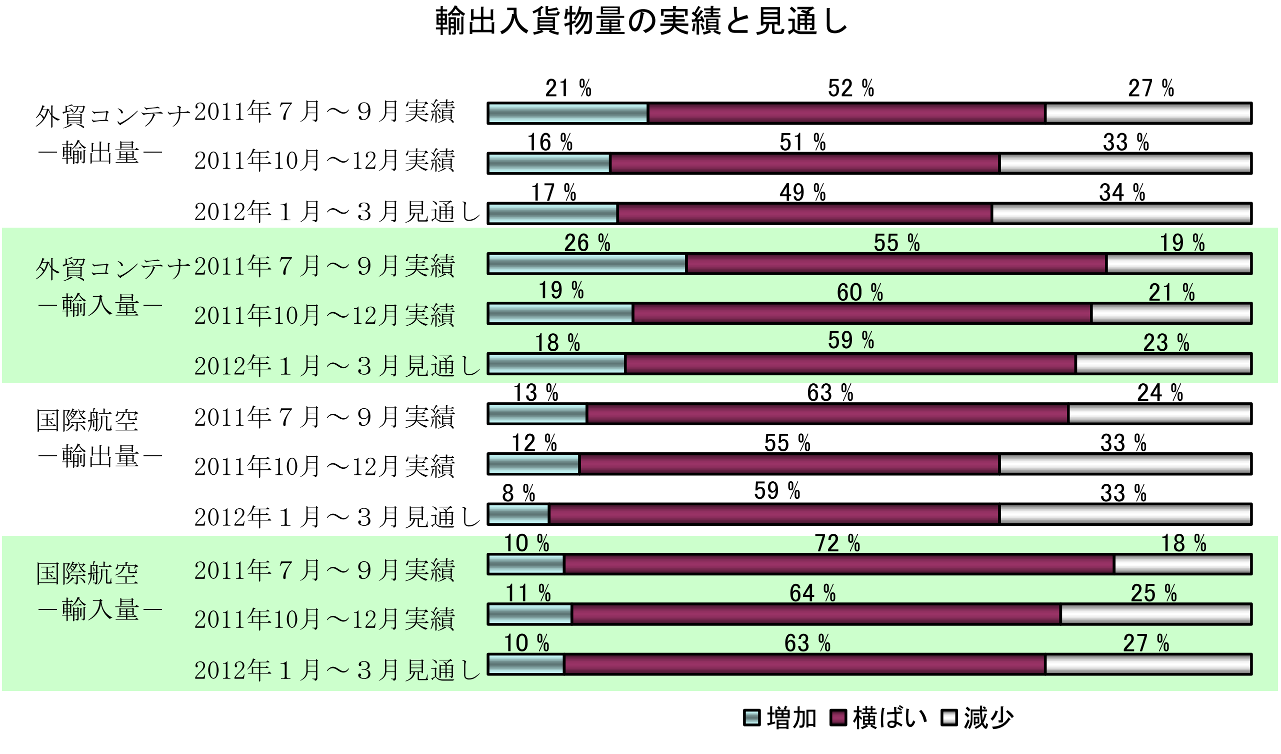
国内航空利用の実績と見通し

	業種	2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	利用動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	利用動向指数
製造業	食料品・飲料	18	0	83	17	△ 17	18	0	83	17	△ 17
製造業	繊維・衣服	13	0	77	23	△ 23	13	8	69	23	△ 15
製造業	木材・家具	6	0	50	50	△ 50	6	0	67	33	△ 33
製造業	パルプ・紙	6	0	50	50	△ 50	6	0	50	50	△ 50
製造業	化学・プラスチック	36	0	81	19	△ 19	35	0	80	20	△ 20
製造業	窯業・土石	12	0	42	58	△ 58	12	0	50	50	△ 50
製造業	鉄鋼・非鉄	29	0	69	31	△ 31	29	0	69	31	△ 31
製造業	金属製品	19	0	74	26	△ 26	19	5	69	26	△ 21
製造業	一般機械	52	2	77	21	△ 19	52	2	73	25	△ 23
製造業	電気機械	58	5	61	34	△ 29	57	4	63	33	△ 29
製造業	輸送用機械	26	0	88	12	△ 12	25	0	96	4	△ 4
製造業	精密機械	11	10	45	45	△ 35	11	18	46	36	△ 18
製造業	その他	18	0	72	28	△ 28	18	0	72	28	△ 28
製造業	計	304	1	71	28	△ 27	301	2	71	27	△ 25
卸売業	生産財	12	8	42	50	△ 42	11	9	36	55	△ 46
卸売業	消費財	8	0	63	37	△ 37	8	0	63	37	△ 37
卸売業	計	20	5	50	45	△ 40	19	5	48	47	△ 42
合計		324	2	69	29	△ 27	320	2	70	28	△ 26

－３．輸出入貨物量の動向－

■　2011年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において、前期（2011年7～9月）実績よりも悪化し、外貿コンテナの輸入で１ケタのマイナスにとどまる以外は、残りすべての輸送機関で２ケタのマイナスとなった。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナの輸出において横ばいで推移する一方、残りすべての輸送機関ではさらに低下する見通しである。とくに国際航空の輸出におけるマイナス幅が大きく、荷動きの減退圧力がいっそう強まるものとみられる。



（１）外貿コンテナ　－輸出－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械が唯一プラスを示し、食料品・飲料など５業種がゼロ水準で、パルプ・紙、化学・プラスチックなど９業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△17 で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは 11 ポイントの低下がみられた。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料、繊維・衣服、輸送用機械がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで上昇する一方、一般機械など４業種がマイナスに落ち込むなど業種によりややバラツキがみられる。業種全体の『荷動き指数』は△17 と横ばいで推移し、この結果、荷動きは停滞が続く見通しである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	11	18	64	18	0	11	27	64	9	18
	繊維・衣服	11	18	64	18	0	11	27	55	18	9
	木材・家具	6	17	50	33	△ 16	6	0	100	0	0
	パルプ・紙	14	0	64	36	△ 36	14	0	50	50	△ 50
	化学・プラスチック	57	12	40	48	△ 36	57	10	39	51	△ 41
	窯業・土石	18	6	61	33	△ 27	18	11	56	33	△ 22
	鉄鋼・非鉄	44	11	50	39	△ 28	43	9	49	42	△ 33
	金属製品	20	20	60	20	0	21	23	48	29	△ 6
	一般機械	60	28	45	27	1	61	26	44	30	△ 4
	電気機械	48	12	46	42	△ 30	47	10	45	45	△ 35
	輸送用機械	42	21	55	24	△ 3	41	32	46	22	10
	精密機械	13	7	62	31	△ 24	13	15	54	31	△ 16
	その他	28	25	50	25	0	27	15	63	22	△ 7
	計	372	16	51	33	△ 17	370	17	49	34	△ 17
卸売業	生産財	10	20	60	20	0	10	10	70	20	△ 10
	消費財	8	12	50	38	△ 26	8	12	50	38	△ 26
	計	18	16	56	28	△ 12	18	11	61	28	△ 17
合計		390	16	51	33	△ 17	388	17	49	34	△ 17

（２）外貿コンテナ　－輸入－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『荷動き指数』は、輸送用機械、その他の製造業など５業種がプラス、一般機械および電気機械がゼロ水準で、パルプ･紙、鉄鋼･非鉄など８業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△２で、前期（2011 年 7～9 月）実績より９ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料および精密機械がプラスに浮上する一方、電気機械がマイナスに沈み、繊維・衣服もゼロ水準まで下降するほか、化学・プラスチックや鉄鋼・非鉄などのマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は３ポイント低下して△５と見込まれ、荷動きの減退圧力が強まる見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

	業種	2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	20	15	65	20	△ 5	20	15	80	5	10
	繊維・衣服	15	33	40	27	6	15	33	33	33	0
	木材・家具	10	20	70	10	10	10	10	90	0	10
	パルプ・紙	10	10	50	40	△ 30	10	10	50	40	△ 30
	化学・プラスチック	53	11	68	21	△ 10	53	11	64	25	△ 14
	窯業・土石	19	16	58	26	△ 10	19	15	53	32	△ 17
	鉄鋼・非鉄	34	6	65	29	△ 23	34	6	56	38	△ 32
	金属製品	19	21	68	11	10	19	21	68	11	10
	一般機械	59	17	66	17	0	58	21	58	21	0
	電気機械	47	23	54	23	0	47	15	57	28	△ 13
	輸送用機械	40	28	60	12	16	39	31	54	15	16
	精密機械	13	15	62	23	△ 8	13	31	46	23	8
	その他	26	35	46	19	16	25	32	48	20	12
	計	365	18	61	21	△ 3	362	19	58	23	△ 4
卸売業	生産財	15	27	40	33	△ 6	15	20	60	20	0
	消費財	11	18	55	27	△ 9	11	9	64	27	△ 18
	計	26	23	46	31	△ 8	26	15	62	23	△ 8
合計		391	19	60	21	△ 2	388	18	59	23	△ 5

（３）国際航空　－輸出－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料がゼロ水準にとどまる以外は、残り 14 業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△21 で、前期（2011 年 7～9 月）実績との比較では 10 ポイントの低下となった。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準となる一方、過半数の業種でマイナス幅が拡大することにより、業種全体の『荷動き指数』は△25 とさらに 4 ポイントの低下が見込まれる。この結果、荷動きの減退圧力が強まる見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
	業種		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	繊維・衣服	10	0	70	30	△ 30	10	0	70	30	△ 30
	木材・家具	1	0	0	100	△ 100	1	0	100	0	0
	パルプ・紙	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	化学・プラスチック	39	2	72	26	△ 24	39	5	74	21	△ 16
	窯業・土石	8	12	50	38	△ 26	8	12	38	50	△ 38
	鉄鋼・非鉄	24	4	67	29	△ 25	24	4	58	38	△ 34
	金属製品	16	19	50	31	△ 12	16	6	69	25	△ 19
	一般機械	73	17	58	25	△ 8	73	15	56	29	△ 14
	電気機械	66	14	36	50	△ 36	65	6	48	46	△ 40
	輸送用機械	34	21	53	26	△ 5	33	18	58	24	△ 6
	精密機械	14	7	57	36	△ 29	14	7	57	36	△ 29
	その他	17	11	65	24	△ 13	17	12	59	29	△ 17
	計	311	12	56	32	△ 20	309	9	59	32	△ 23
卸売業	生産財	11	10	45	45	△ 35	11	0	55	45	△ 45
	消費財	6	0	50	50	△ 50	6	0	50	50	△ 50
	計	17	6	47	47	△ 41	17	0	53	47	△ 47
合計		328	12	55	33	△ 21	326	8	59	33	△ 25

（４）国際航空　－輸入－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料および金属製品がプラス、木材・家具がゼロ水準で、残り 12 業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△14 で、前期(2011 年 7～9 月)実績からは６ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上し、輸送用機械もゼロ水準まで戻す一方、一般機械、電気機械などのマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は３ポイント低下して△17 と見込まれ、荷動きの減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

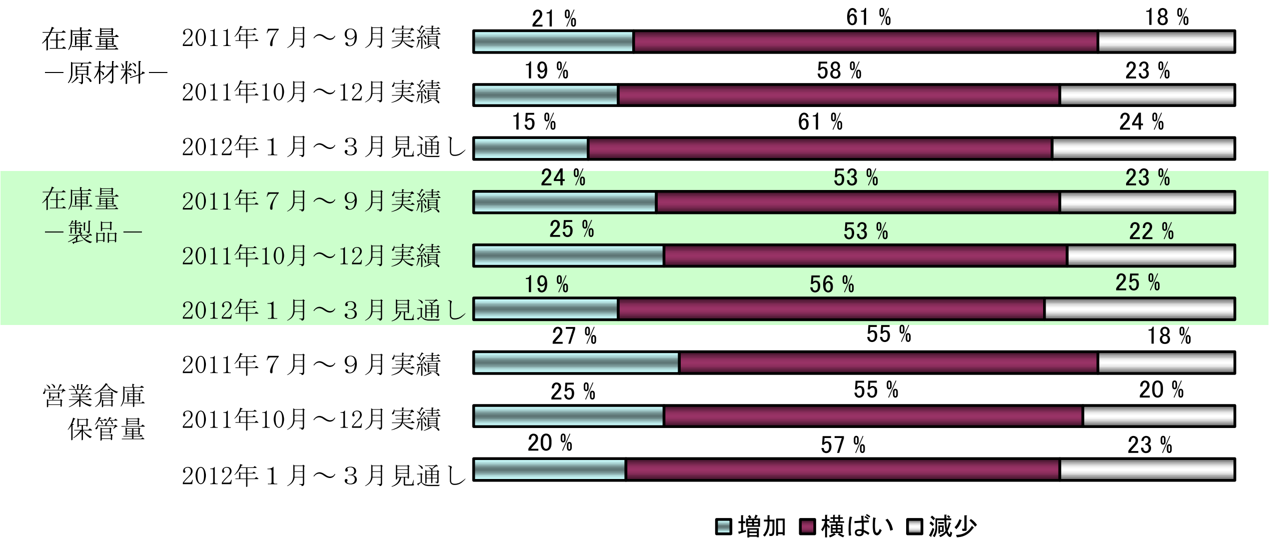
業種		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
製造業	食料品・飲料	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	繊維・衣服	11	0	82	18	△ 18	11	0	82	18	△ 18
	木材・家具	1	0	100	0	0	2	50	50	0	50
	パルプ・紙	2	0	50	50	△ 50	2	0	50	50	△ 50
	化学・プラスチック	32	3	75	22	△ 19	31	9	65	26	△ 17
	窯業・土石	6	17	17	66	△ 49	6	17	17	66	△ 49
	鉄鋼・非鉄	17	5	71	24	△ 19	17	0	65	35	△ 35
	金属製品	13	23	62	15	8	13	15	77	8	7
	一般機械	59	13	68	19	△ 6	59	13	63	24	△ 11
	電気機械	61	15	49	36	△ 21	60	6	57	37	△ 31
	輸送用機械	30	17	63	20	△ 3	29	14	72	14	0
	精密機械	12	0	75	25	△ 25	12	17	58	25	△ 8
	その他	17	5	71	24	△ 19	17	6	59	35	△ 29
	計	268	11	64	25	△ 14	266	10	63	27	△ 17
卸売業	生産財	11	9	64	27	△ 18	11	9	64	27	△ 18
	消費財	7	0	71	29	△ 29	7	0	71	29	△ 29
	計	18	5	67	28	△ 23	18	5	67	28	△ 23
合計		286	11	64	25	△ 14	284	10	63	27	△ 17

－４．在庫量と営業倉庫利用の動向－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫では『動向指数』がマイナスに落ち込む一方、製品在庫および営業倉庫保管量ではプラスとなった。前期（2011 年 7～9 月）実績との比較では、製品在庫では小幅ながら『動向指数』が上昇したが、原材料在庫および営業倉庫保管量では低下した。

■　2012 年 1～3 月の見通しについては、いずれの『動向指数』も悪化し、すべてマイナスに落ち込む。このため、再び在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減の方向に進む見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



（１）在庫量　－原材料－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、精密機械など４業種がプラス、窯業・土石および輸送用機械がゼロ水準で、電気機械、生産財卸など９業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△４で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは７ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『在庫動向指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに浮上する一方、窯業・土石、一般機械、輸送用機械がマイナスに沈み、木材・家具もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は５ポイント低下して△９となり、原材料在庫の圧縮が進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	在庫動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	在庫動向指数
製造業	食料品・飲料	80	14	68	18	△ 4	79	15	71	14	1
	繊維・衣服	41	24	47	29	△ 5	41	17	51	32	△ 15
	木材・家具	34	26	53	21	5	35	20	60	20	0
	パルプ・紙	39	12	67	21	△ 9	39	10	67	23	△ 13
	化学・プラスチック	110	14	66	20	△ 6	110	13	64	23	△ 10
	窯業・土石	36	25	50	25	0	36	11	64	25	△ 14
	鉄鋼・非鉄	91	19	58	23	△ 4	91	13	65	22	△ 9
	金属製品	45	13	65	22	△ 9	44	14	61	25	△ 11
	一般機械	86	22	58	20	2	86	21	53	26	△ 5
	電気機械	110	17	56	27	△ 10	109	13	54	33	△ 20
	輸送用機械	83	18	64	18	0	82	17	62	21	△ 4
	精密機械	19	47	37	16	31	19	37	37	26	11
	その他	50	26	46	28	△ 2	50	12	58	30	△ 18
	計	824	19	59	22	△ 3	821	15	61	24	△ 9
卸売業	生産財	33	21	43	36	△ 15	33	15	52	33	△ 18
	消費財	25	24	56	20	4	25	16	72	12	4
	計	58	22	49	29	△ 7	58	16	60	24	△ 8
合計		882	19	58	23	△ 4	879	15	61	24	△ 9

（２）在庫量　－製品－

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、食料品・飲料、化学・プラスチックなど６業種がプラス、窯業・土石など３業種がゼロ水準で、生産財卸など６業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス３で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは２ポイント上昇した。

■　2012 年 1～3 月の『在庫動向指数』見通しでは、窯業・土石など５業種がマイナスに落ち込むほか、パルプ・紙および化学・プラスチックもゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は９ポイント低下して△６とマイナスに反転し、製品在庫は圧縮に向かう見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

	業種	2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	在庫動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	在庫動向指数
製造業	食料品・飲料	82	30	59	11	19	81	19	68	13	6
製造業	繊維・衣服	43	25	47	28	△ 3	43	21	51	28	△ 7
製造業	木材・家具	36	25	56	19	6	36	25	58	17	8
製造業	パルプ・紙	43	26	56	18	8	43	23	54	23	0
製造業	化学・プラスチック	114	25	61	14	11	114	19	62	19	0
製造業	窯業・土石	40	25	50	25	0	40	14	58	28	△ 14
製造業	鉄鋼・非鉄	92	24	54	22	2	92	17	59	24	△ 7
製造業	金属製品	50	24	46	30	△ 6	49	22	45	33	△ 11
製造業	一般機械	90	27	50	23	4	90	25	48	27	△ 2
製造業	電気機械	117	26	42	32	△ 6	116	19	47	34	△ 15
製造業	輸送用機械	83	20	60	20	0	82	18	60	22	△ 4
製造業	精密機械	19	26	48	26	0	19	21	47	32	△ 11
製造業	その他	50	24	50	26	△ 2	50	10	60	30	△ 20
製造業	計	859	25	53	22	3	855	19	56	25	△ 6
卸売業	生産財	50	18	54	28	△ 10	50	14	52	34	△ 20
卸売業	消費財	36	17	61	22	△ 5	36	17	61	22	△ 5
卸売業	計	86	17	57	26	△ 9	86	15	56	29	△ 14
合計		945	25	53	22	3	941	19	56	25	△ 6

（３）営業倉庫保管量

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『保管動向指数』は、その他の製造業および生産財卸がマイナスで、残り 13 業種がプラスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス５で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは４ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『保管動向指数』見通しでは、一般機械など５業種がマイナスに沈み、パルプ・紙もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『保管動向指数』は８ポイント低下して△３とマイナスに反転する見込みで、営業倉庫保管量は削減の方向に向かう見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

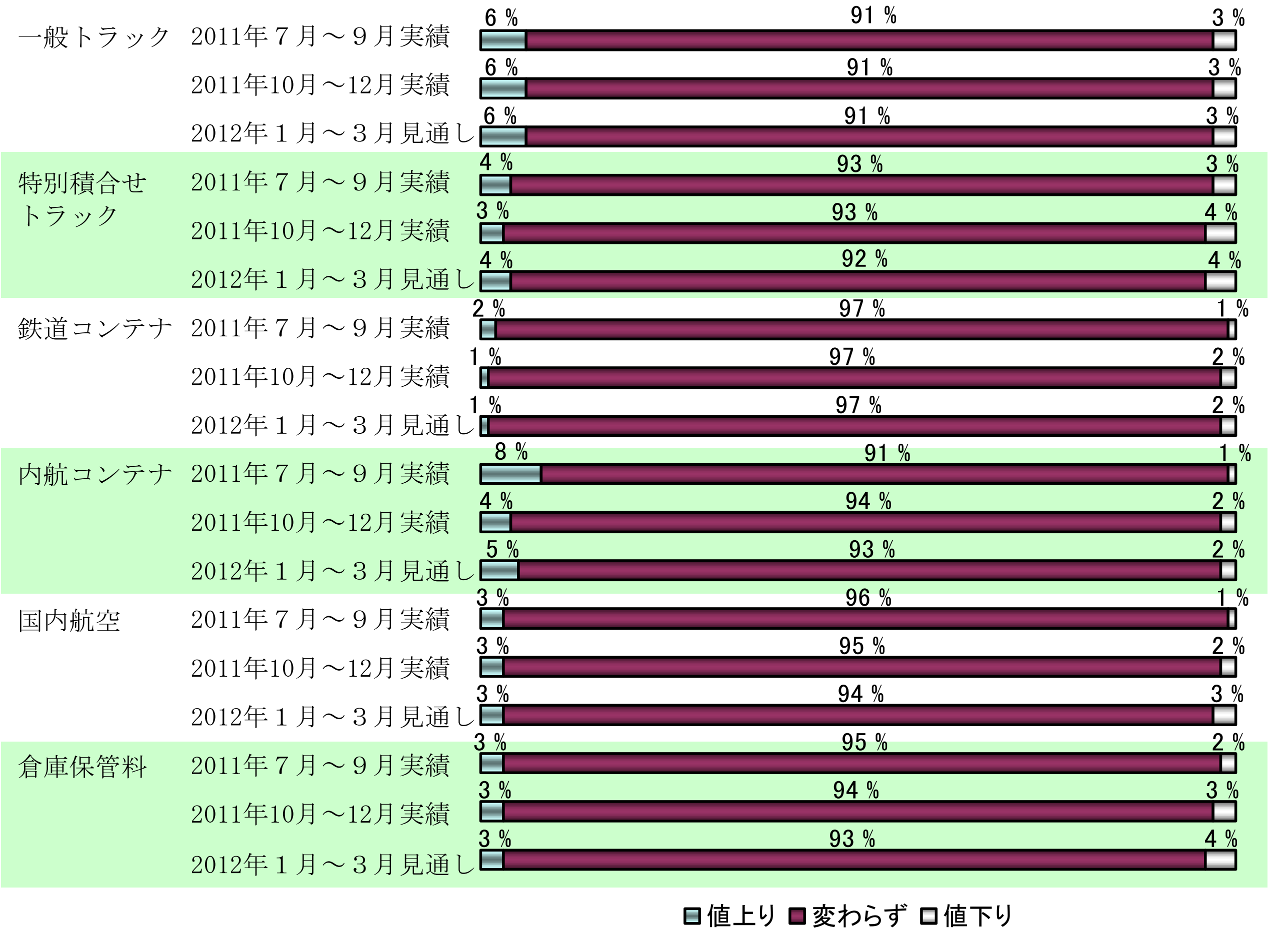
業種		2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	保管動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 増加	横ばい	減少	保管動向指数
製造業	食料品・飲料	59	25	56	19	6	59	24	61	15	9
	繊維・衣服	21	38	38	24	14	21	29	33	38	△ 9
	木材・家具	25	24	60	16	8	25	20	64	16	4
	パルプ・紙	37	35	49	16	19	37	24	52	24	0
	化学・プラスチック	96	23	59	18	5	96	20	64	16	4
	窯業・土石	26	35	50	15	20	26	23	58	19	4
	鉄鋼・非鉄	61	18	67	15	3	61	10	70	20	△ 10
	金属製品	20	35	55	10	25	20	25	65	10	15
	一般機械	62	24	55	21	3	61	18	48	34	△ 16
	電気機械	75	28	45	27	1	75	20	47	33	△ 13
	輸送用機械	55	22	65	13	9	55	20	64	16	4
	精密機械	14	36	57	7	29	14	14	65	21	△ 7
	その他	37	19	51	30	△ 11	36	13	56	31	△ 18
	計	588	26	56	18	8	586	19	58	23	△ 4
卸売業	生産財	44	23	45	32	△ 9	44	25	45	30	△ 5
	消費財	29	21	62	17	4	29	21	62	17	4
	計	73	22	52	26	△ 4	73	23	52	25	△ 2
合計		661	25	55	20	5	659	20	57	23	△ 3

－５．運賃・料金の動向－

■ 2011 年 10～12 月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、一般トラックでプラス３、内航コンテナでプラス２とややプラス幅が大きいものの、総じてゼロ水準±１の範囲内に収まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（2011 年 7～9 月）実績との比較では、内航コンテナで５ポイント低下した以外は、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 2012 年 1～3 月の『動向指数』見通しについては、一般トラックおよび内航コンテナではプラス３と、運賃・料金はやや上昇方向に動くが、その他の機関では『動向指数』が引き続きゼロ水準±１の範囲内にとどまり、総じて運賃・料金水準の大幅な変動は見込めない。

運賃・料金の実績と見通し



（１）一般トラック運賃

■ 2011 年 10～12 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など９業種がプラス、繊維・衣服および金属製品がゼロ水準で、精密機械など４業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス３で、前期(2011 年 7～9 月)実績からは横ばいで推移した。

■ 2012年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、輸送用機械がゼロ水準に浮上する一方、金属製品がマイナスに落ち込み、生産財卸もゼロ水準まで下降する。業種全体の『運賃動向指数』はプラス３と横ばいで推移する見通しで、運賃水準は引き続きやや上昇方向に動くとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
業種			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
製造業	食料品・飲料	87	5	92	3	2	85	5	94	1	4
製造業	繊維・衣服	38	0	100	0	0	38	3	94	3	0
製造業	木材・家具	36	8	89	3	5	35	9	91	0	9
製造業	パルプ・紙	47	2	92	6	△ 4	47	2	92	6	△ 4
製造業	化学・プラスチック	117	1	96	3	△ 2	116	2	94	4	△ 2
製造業	窯業・土石	39	15	85	0	15	39	13	85	2	11
製造業	鉄鋼・非鉄	101	10	87	3	7	101	10	86	4	6
製造業	金属製品	52	4	92	4	0	52	4	90	6	△ 2
製造業	一般機械	92	10	87	3	7	92	8	89	3	5
製造業	電気機械	117	3	96	1	2	116	4	93	3	1
製造業	輸送用機械	86	6	87	7	△ 1	83	6	88	6	0
製造業	精密機械	16	0	94	6	△ 6	15	0	87	13	△ 13
製造業	その他	50	10	88	2	8	50	10	88	2	8
製造業	計	878	6	91	3	3	869	6	91	3	3
卸売業	生産財	56	5	91	4	1	56	5	90	5	0
卸売業	消費財	42	5	93	2	3	42	7	93	0	7
卸売業	計	98	5	92	3	2	98	6	91	3	3
合計		976	6	91	3	3	967	6	91	3	3

（２）特別積合せトラック運賃

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など７業種がプラス、食料品・飲料および一般機械がゼロ水準で、精密機械など６業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△１で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは２ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上し、輸送用機械もゼロ水準まで戻す一方、生産財卸がゼロ水準に下降する。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準と強含み横ばいでの推移が見込まれ、運賃水準には変化がないものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 値上り	構成比(%) 不変	構成比(%) 値下り	運賃動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 値上り	構成比(%) 不変	構成比(%) 値下り	運賃動向指数
製造業	食料品・飲料	51	2	96	2	0	51	4	92	4	0
製造業	繊維・衣服	35	3	91	6	△ 3	34	6	91	3	3
製造業	木材・家具	23	9	91	0	9	23	9	91	0	9
製造業	パルプ・紙	29	0	93	7	△ 7	29	0	93	7	△ 7
製造業	化学・プラスチック	98	0	96	4	△ 4	98	1	95	4	△ 3
製造業	窯業・土石	30	7	93	0	7	30	7	90	3	4
製造業	鉄鋼・非鉄	62	5	94	1	4	62	5	92	3	2
製造業	金属製品	36	6	94	0	6	36	6	92	2	4
製造業	一般機械	74	4	92	4	0	74	4	92	4	0
製造業	電気機械	93	1	93	6	△ 5	93	0	94	6	△ 6
製造業	輸送用機械	58	3	92	5	△ 2	57	4	92	4	0
製造業	精密機械	6	0	83	17	△ 17	6	0	83	17	△ 17
製造業	その他	39	8	90	2	6	39	8	87	5	3
製造業	計	634	3	93	4	△ 1	632	3	93	4	△ 1
卸売業	生産財	40	8	90	2	6	40	5	90	5	0
卸売業	消費財	29	3	97	0	3	29	3	97	0	3
卸売業	計	69	6	93	1	5	69	4	93	3	1
合計		703	3	93	4	△ 1	701	4	92	4	0

（３）鉄道コンテナ運賃

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙が唯一プラスを示し、繊維・衣服など９業種がゼロ水準で、生産財卸など５業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△１で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは２ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品および一般機械がプラスに浮上する一方、鉄鋼・非鉄マイナスに下降する以外に動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も△１と横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準はいくぶん弱含む見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 値上り	不変	値下り	運賃動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 値上り	不変	値下り	運賃動向指数
製造業	食料品・飲料	42	0	98	2	△ 2	41	0	98	2	△ 2
製造業	繊維・衣服	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
製造業	木材・家具	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
製造業	パルプ・紙	32	3	97	0	3	31	3	97	0	3
製造業	化学・プラスチック	81	0	99	1	△ 1	81	0	99	1	△ 1
製造業	窯業・土石	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
製造業	鉄鋼・非鉄	42	0	100	0	0	42	0	98	2	△ 2
製造業	金属製品	23	0	100	0	0	23	4	96	0	4
製造業	一般機械	39	0	97	3	△ 3	39	5	92	3	2
製造業	電気機械	30	0	100	0	0	30	0	100	0	0
製造業	輸送用機械	29	3	94	3	0	28	4	92	4	0
製造業	精密機械	6	0	83	17	△ 17	6	0	83	17	△ 17
製造業	その他	26	4	92	4	0	26	4	92	4	0
製造業	計	388	1	97	2	△ 1	385	2	96	2	0
卸売業	生産財	10	0	90	10	△ 10	10	0	90	10	△ 10
卸売業	消費財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
卸売業	計	23	0	96	4	△ 4	23	0	96	4	△ 4
合計		411	1	97	2	△ 1	408	1	97	2	△ 1

（４）内航コンテナ運賃

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、窯業・土石など８業種がプラス、食料品・飲料など４業種がゼロ水準で、精密機械など３業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス２で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは５ポイント低下した。

■　2012 年 1～3 月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙などのプラス幅が拡大する一方、鉄鋼・非鉄がゼロ水準まで下落する。業種全体の『運賃動向指数』もプラス３と強含み横ばいで推移する見込みで、運賃水準は緩やかな上昇基調が続くとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

	業　種	2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 値上り	構成比(%) 不変	構成比(%) 値下り	運賃動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 値上り	構成比(%) 不変	構成比(%) 値下り	運賃動向指数
製造業	食料品・飲料	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
	繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	木材・家具	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	パルプ・紙	17	6	94	0	6	17	12	88	0	12
	化学・プラスチック	43	2	98	0	2	43	2	98	0	2
	窯業・土石	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12
	鉄鋼・非鉄	25	8	88	4	4	25	8	84	8	0
	金属製品	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	一般機械	38	8	89	3	5	38	5	92	3	2
	電気機械	31	3	97	0	3	30	7	93	0	7
	輸送用機械	19	5	95	0	5	17	6	94	0	6
	精密機械	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	その他	21	0	95	5	△ 5	21	0	95	5	△ 5
	計	253	4	94	2	2	250	5	93	2	3
卸売業	生産財	5	0	80	20	△ 20	5	0	80	20	△ 20
	消費財	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	計	11	0	91	9	△ 9	11	0	91	9	△ 9
合計		264	4	94	2	2	261	5	93	2	3

（５）国内航空運賃

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙など５業種がプラス、繊維･衣服など８業種がゼロ水準で、電気機械および精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス１で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■　2012年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品および一般機械がプラスに浮上する一方、木材・家具および鉄鋼・非鉄がマイナスに落ち込み、その他の製造業もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準と弱含み横ばいで推移し、運賃水準は現状維持が続く見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績 回答社数	構成比(%) 値上り	構成比(%) 不変	構成比(%) 値下り	運賃動向指数	2012年１月～３月見通し 回答社数	構成比(%) 値上り	構成比(%) 不変	構成比(%) 値下り	運賃動向指数
製造業	食料品・飲料	16	12	88	0	12	16	12	88	0	12
製造業	繊維・衣服	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
製造業	木材・家具	6	0	100	0	0	7	0	86	14	△ 14
製造業	パルプ・紙	6	17	83	0	17	6	17	83	0	17
製造業	化学・プラスチック	36	0	100	0	0	36	0	100	0	0
製造業	窯業・土石	12	8	92	0	8	12	8	92	0	8
製造業	鉄鋼・非鉄	28	0	100	0	0	28	0	96	4	△ 4
製造業	金属製品	18	0	100	0	0	18	6	94	0	6
製造業	一般機械	55	4	92	4	0	55	4	95	1	3
製造業	電気機械	59	0	95	5	△ 5	58	0	95	5	△ 5
製造業	輸送用機械	26	0	100	0	0	24	0	100	0	0
製造業	精密機械	10	0	90	10	△ 10	10	0	90	10	△ 10
製造業	その他	17	6	94	0	6	17	6	88	6	0
製造業	計	302	2	96	2	0	300	3	94	3	0
卸売業	生産財	14	14	79	7	7	14	14	79	7	7
卸売業	消費財	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
卸売業	計	21	10	86	4	6	21	10	86	4	6
合計		323	3	95	2	1	321	3	94	3	0

（６）営業倉庫保管料金

■　2011 年 10～12 月実績（見込み）の『料金動向指数』は、窯業・土石など５業種がプラス、食料品・飲料など５業種がゼロ水準で、繊維・衣服など５業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』はゼロ水準で、前期(2011 年 7～9 月)実績からは弱含み横ばいで推移した。

■　2012 年 1～3 月の『料金動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準に戻す一方、化学・プラスチックおよび消費財卸がマイナスに落ち込み、パルプ・紙もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『料金動向指数』は△１と弱含み横ばいで推移し、料金水準はいくぶん低下する見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%) 値上り	不変	値下り	料金動向指数	回答社数	構成比(%) 値上り	不変	値下り	料金動向指数
製造業	食料品・飲料	48	0	100	0	0	48	0	100	0	0
	繊維・衣服	15	0	87	13	△ 13	15	0	93	7	△ 7
	木材・家具	17	0	94	6	△ 6	17	0	100	0	0
	パルプ・紙	30	3	97	0	3	30	3	94	3	0
	化学・プラスチック	91	1	98	1	0	91	2	95	3	△ 1
	窯業・土石	17	6	94	0	6	17	6	94	0	6
	鉄鋼・非鉄	47	6	92	2	4	47	4	94	2	2
	金属製品	23	4	96	0	4	23	9	91	0	9
	一般機械	59	2	96	2	0	59	2	96	2	0
	電気機械	74	1	95	4	△ 3	74	3	89	8	△ 5
	輸送用機械	50	6	90	4	2	48	4	94	2	2
	精密機械	11	9	82	9	0	11	9	82	9	0
	その他	35	3	91	6	△ 3	35	3	91	6	△ 3
	計	517	3	94	3	0	515	3	94	3	0
卸売業	生産財	36	6	86	8	△ 2	36	3	86	11	△ 8
	消費財	22	0	100	0	0	22	0	95	5	△ 5
	計	58	3	92	5	△ 2	58	1	90	9	△ 8
合計		575	3	94	3	0	573	3	93	4	△ 1

－６．物流コスト割合の動向－

■　売上高に対する物流コスト割合の動向について、2011 年 10～12 月実績（見込み）の『動向指数』は、精密機械など３業種がマイナス、繊維・衣服がゼロ水準で、残り 11 業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス８で、前期（2011 年 7～9 月）実績からは２ポイント低下した。

■　2012年1～3月の『動向指数』見通しでは、窯業・土石および生産財卸がマイナスに反転し、金属製品もゼロ水準に下降することなどにより、業種全体の『動向指数』は３ポイント低下してプラス５となろう。この結果、物流コスト割合は上昇が続く見通しであるが、増勢は若干弱まるものとみられる。

物流コスト割合の実績と見通し

業種		2011年10月～12月実績					2012年１月～３月見通し				
		回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数
			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
製造業	食料品・飲料	91	32	60	8	24	91	25	67	8	17
	繊維・衣服	45	13	74	13	0	45	18	69	13	5
	木材・家具	38	24	66	10	14	38	18	77	5	13
	パルプ・紙	46	24	72	4	20	46	22	74	4	18
	化学・プラスチック	117	18	74	8	10	117	15	78	7	8
	窯業・土石	41	24	64	12	12	41	15	68	17	△ 2
	鉄鋼・非鉄	101	16	74	10	6	101	13	76	11	2
	金属製品	55	24	58	18	6	55	18	64	18	0
	一般機械	95	22	66	12	10	96	20	68	12	8
	電気機械	125	26	57	17	9	124	29	52	19	10
	輸送用機械	90	18	63	19	△ 1	89	13	66	21	△ 8
	精密機械	22	13	64	23	△ 10	22	13	55	32	△ 19
	その他	52	31	56	13	18	52	25	52	23	2
	計	918	22	65	13	9	917	19	67	14	5
卸売業	生産財	62	18	69	13	5	62	13	69	18	△ 5
	消費財	41	7	78	15	△ 8	41	10	78	12	△ 2
	計	103	14	72	14	0	103	11	73	16	△ 5
合計		1,021	21	66	13	8	1,020	19	67	14	5